

令和8年度予算 宿泊税活用事業について

1 宿泊税の制度概要

【目的】
国内外の旅行者に選ばれる持続可能な観光都市として発展することを目的として、都市の魅力を高め、観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため

税率	宿泊料金 (1人1泊)	札幌市	北海道	合計
	2万円未満	200円	100円	300円
	2万円以上 5万円未満		200円	400円
	5万円以上	500円	500円	1,000円
特別徴収義務者	旅館業法許可施設(下宿を除く)および民泊			
特別徴収義務者交付金	導入当初5年間は3.5%を交付			
免税点	なし			
課税免除	修学旅行等での宿泊は課税免除			

2 宿泊税活用事業の考え方

来訪者の満足度向上と観光業の持続的な発展を目指し、次の分野を中心とした、**新規事業や既存事業の拡充分に活用**(宿泊税で新規・拡充した事業については、次年度以降も宿泊税を活用)

- ✓ 持続可能な観光地経営の推進
- ✓ 観光資源の磨き上げと付加価値の向上
- ✓ 受入環境の整備とおもてなしの向上

(参考)北海道宿泊税との棲み分け

北海道

■道内全域の施策
■市町村を跨ぐ広域的な施策
■全道域に効果が及ぶモデル的な施策

取組の連携により
相乗効果を高める

市町村

■市町村内の施策
■地域特有の課題対応

【北海道の取組の方向性】

①マーケティングの強化
④人材の確保・育成
⑦危機対応力の強化

②資源を活かした観光の推進
⑤受入機能の強化・高度化

③地域の取組支援
⑥移動利便性の向上

3 令和8年度宿泊税予算

- ❑ 税収見込み額 ⇒ 3,141百万円
- ❑ 宿泊税活用額 ⇒ 2,731百万円
- ❑ 基金積立て額 ⇒ 410百万円

【分野別】※各数字は四捨五入のため合計と一致しない

持続可能な観光地経営の推進 : 1,265百万円
観光資源の磨き上げと付加価値の向上 : 867百万円
受入環境の整備とおもてなしの向上 : 598百万円

- ≪ポイント≫
- ・関連事業者の経営や雇用の安定化に資する**閑散期の需要創出**や、市民生活の利便性向上にも資する**交通環境整備等**、R8.4月から本格稼働する**DMOによる戦略的な観光地経営**の取組に重点的に活用
 - ・宿泊税の一部は基金にも積立て(財源の安定性確保の観点)
 - ・宿泊税は観光・MICE推進部の事業のほか、観光振興に資する他部局事業にも活用

	R8予算(事業費)	宿泊税充当額
宿泊税活用事業 合計	10,290,605千円	3,141,000千円
観光・MICE推進部	4,241,500千円	2,779,874千円
他部局	6,049,105千円	361,126千円

※ 観光・MICE推進部のR8予算には、観光振興基金(410,000千円を含む。)

(参考)宿泊税を活用しない事業も含めた観光・MICE推進部の全体予算(4,539,231千円)

4 基金の運用

宿泊税の導入に合わせて基金を設置

- 名称
観光振興基金(札幌市基金条例に追加)
- 目的
 - ①持続可能な観光地として発展していくための観光分野への施策を安定的かつ効果的に推進するため
 - ②宿泊税の使途の透明性確保や年度間の税収変動等に対応するため
- 積立ての考え方
 - ・次年度に支払う宿泊事業者への交付金相当分【1.1億円】
 - ・初年度のみ税収変動リスク分として税収の10%【3億円】
 - ・宿泊税収と宿泊税活用事業額の差分(決算剰余)
 - ※災害等の緊急時対策用としての積立ては行わない
- 基金積立ての流れ
R8当初予算⇒交付金分と変動対応分の基金積立て
R9.6月以降⇒R8宿泊税の決算額確定後、補正予算でR8宿泊税の剰余分を基金に積立て

令和8年度予算 宿泊税活用事業について

活用分野 1

持続可能な観光地経営の推進

宿泊税活用額 約12.7億円

※事業名横の()内の数字は宿泊税活用額を示す

閑散期における観光需要の底上げ(522百万円)

- ◆さっぽろホワイトイルミネーション事業費(303百万円)
 - ・大通会場の大規模リニューアル、駅前通り会場の拡充に加え、中島公園など都心部を想定した新たなイルミネーションの実施
 - ・ミュンヘン・クリスマス市の混雑緩和と観光客の満足度向上を目的とした開催会場の拡充



《大通会場イメージ》



《現在の駅前通会場》



《現在のクリスマス市会場》

- ◆観光閑散期のにぎわい創出補助金(150百万円)
閑散期におけるにぎわい創出と観光消費の誘発を図るため、誘客効果が期待されるイベント等の誘致・開催に対する補助

- ◆国際スポーツ大会等誘致促進事業(30百万円)
eスポーツ国際大会の開催支援

- ◆MICE推進費(22百万円)
誘致力の強化やMICE開催効果の増大に向けた取組として、コンベンション開催支援助成金、観光消費拡大に資するメニュー開発の実施



【ラジオ制作体験】



【スキージャンプ 台体験】

- ◆外国人誘客関連(17百万円)
フィルムコミッションによる映像制作誘致体制の強化等

交通環境整備等(207百万円)

- ◆観光交通対策関連(66百万円)
手ぶら観光の充実や交通利用の分散化等の強化のほか、観光バスの路上駐停車対策として、巡回整理業務の強化や一時乗降所の増設に向けた調査、混雑している札幌駅北口駅前広場の交通整理の強化
- ◆観光客受入環境整備費【除排雪強化分】(100百万円)
観光客や市民にとって快適な交通環境を提供するための観光地等周辺における除排雪の強化
- ◆ポイ捨て等防止啓発・指導費(41百万円)
都心部を中心とした啓発やパトロール体制の増強



《手荷物預かりサービス》



《除排雪イメージ》

DMOによる戦略的な観光地経営(463百万円)

- ◆DMOによる観光マネジメント推進費(463百万円)
4月に本格稼働するDMOによる集客・収益の最大化に向けた戦略的な施策展開
- ・地域マネジメント
ワークショップ等による事業者とのネットワーク構築、事業者向け情報発信ページの構築
- ・マーケティング
各種データを一元的に収集・集約・分析し、企画立案、地域への共有を行うDMP(データマネジメントプラットフォーム)の構築
- ・プロモーション
【国内】秋の観光需要底上げに向けた誘客促進キャンペーンの実施
【国際】欧米豪や新規市場に観光レップ(現地観光PR拠点)を設置
【スノーリゾート】海外イベント出展、商品販売促進

人材確保・育成(35百万円)

- ◆観光人材確保・育成支援費(28百万円)
宿泊業界に特化した合同就職説明会、人材定着や従業員のスキルアップ支援の実施

- ◆公共交通ネットワーク確保対策費(7百万円)
バス運転手確保策の一つとして、特定技能制度を活用した外国人バス運転手の養成及び採用・定着に向けた支援を実施

宿泊税の適正な運用(39百万円)

- ◆安全・安心な宿泊環境維持推進費(24百万円)
無許可宿泊事業者に対する監視指導の強化等
- ◆市民税費(15百万円)
宿泊税制度に関する周知広報等の実施

令和8年度予算 宿泊税活用事業について

活用分野 2

観光資源の磨き上げと付加価値の向上

宿泊税活用額 約8.7億円

各種イベント(529百万円)

※事業名横の()内の数字は宿泊税活用額を示す。「市債」とあるものは次年度以降の償還費にも宿泊税を活用予定

観光

◆さっぽろ雪まつり事業費(310百万円)

持続可能な雪まつりの運営に向け、会場全体の統一的な運営体制を整備するとともに、イベントのリブランディングや収益確保策の検討、メイン巨大雪像の設置や新たな体験型コンテンツ等を実施



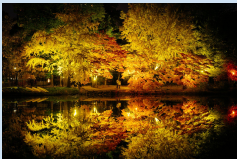
《会場展開のイメージ》



《2015年の大雪像》

◆付加価値の高い観光コンテンツの創出関連(16百万円)

中島公園紅葉ライトアップ事業による秋の新たな集客コンテンツの創出や、各種イベントにおけるインバウンド向けコンテンツの提供



《紅葉ライトアップ》

◆さっぽろホワイトイルミネーション事業費(再掲)

文化

◆国際芸術祭・創造都市推進事業費(93百万円)

SIAF開催期間における市内各所を彩るメディアアート作品・プログラムの展開及びインバウンド環境整備



◆パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費(35百万円)

PMF、サッポロ・シティ・ジャズ、札幌交響楽団による音楽イベントの開催

スポーツ

◆さっぽろスノースポーツパーク開催負担金(50百万円)

プレミストドームを会場とした雪まつり特別連携行事の開催

◆地域スポーツコミッション事業費(10百万円)

中島公園で開催する「ナイトクロカン」の期間延長及びインバウンド向けPRの強化



《ナイトクロカン》

食

◆美食のまち・さっぽろブランド推進費(15百万円)

北海道フービーフェスとサン・セバスティアン国際映画祭との連携

定山溪・スノーリゾート(338百万円)

◆定山溪地区魅力アップ費(257百万円、市債13百万円)

- ・開湯160周年を記念した閑散期等における市民利用を促進する事業の実施
- ・「定山溪温泉かわまちづくり計画」に基づく、二見公園/河畔園地の再整備 (R8~R9工事)
- ・塗装の劣化が著しい二見吊り橋の再塗装 (R8:設計、R9工事)
- ・豊平峡ダム駐車場トイレのリニューアル (R8:設計、R9工事)



《かわまちづくり計画》



《160周年記念事業のイメージ》

◆スノーリゾート推進費(81百万円)

スキー場の魅力向上に資する設備投資の実現を支援するため、土地利用規制の緩和に向けた検討を実施するほか、市内中心部とスキー場を結ぶ直行バス運行等の実証実験



《バス運行実証実験のイメージ》

令和8年度予算 宿泊税活用事業について

活用分野 3

受入環境の整備とおもてなしの向上

宿泊税活用額 約6.0億円

誰もが快適に過ごせる環境整備(503百万円)

※事業名横の()内の数字は宿泊税活用額を示す。「市債」とあるものは次年度以降の償還費にも宿泊税を活用予定

◆観光業界強靱化推進費(133百万円)

多様化する観光客の受入促進と業界の人手不足解消に向け、観光施設・宿泊施設の受入環境整備や業務効率化の取組を支援



◆観光客受入環境整備費(165百万円)

- ・老朽化した公衆無線LANの機器更改
- ・観光客や市民にとって快適な交通環境を提供するための観光地等周辺における除排雪の強化(再掲)



◆多文化共生推進費(10百万円)

外国人観光客の安心安全な滞在環境の確保等に資する医療受診時通訳支援システムの整備

◆災害時受入れ体制整備関連(101百万円)

災害時帰宅困難者となる観光客等を受け入れる宿泊施設に対する非常用自家発電設備の整備支援等

◆ユニバーサルツーリズム推進費(92百万円)

誰もが旅行を気兼ねなく楽しめる環境を整備するため、ユニバーサルツーリズムを支える人材の育成やモニターツアーの実施のほか、宿泊施設のバリアフリー改修の支援促進



《人材育成セミナーの様子》



《点字ブロック敷設》

◆豊平峡ダムサイト園地ユニバーサルデザイン化費(2百万円、市債11百万円)

豊平峡ダムサイト園地内のトイレや看板等のユニバーサルデザイン化改修

【想定スケジュール】

- ・R8 設計
- ・R9～ 工事



《トイレの改修イメージ(参考)》

情報提供・おもてなしの向上(94百万円)

◆観光案内所運営費(63百万円)

- 北海道さっぽろ観光案内所の移転リニューアル
- ①観光案内所の東コンコースへの移転
 - ②西側での観光情報発信機能等の強化



【想定スケジュール】

- ・R8 設計
- ・R9～ 移転工事

◆おもてなし推進費(10百万円)

地域の観光資源開発等による観光客に対するおもてなしの向上
例) 地域の歴史を巡るコースの造成
地域の郷土芸能の観光コンテンツ化 など

◆多言語対応関連(21百万円)

バスターミナルの行先案内板の多言語対応や窓口への翻訳機設置、主要公園における案内板や誘導サインの多言語化対応等

令和8年度予算 宿泊税活用事業について

宿泊税活用事業一覧

	事業名	事業費	宿泊税活用額
	持続可能な観光地経営の推進	6,100,805	1,265,215
1	観光行事助成費	33,500	12,400
2	さっぽろホワイトイルミネーション事業費	303,000	303,000
3	DMOによる観光マネジメント推進費	615,000	463,140
4	観光客受入環境整備費	100,000	100,000
5	観光人材確保・育成支援費	28,000	27,550
6	観光交通対策推進費	72,000	63,388
7	MICE推進費	196,000	22,000
8	観光閑散期のにぎわい創出補助金	150,000	150,000
9	公共交通ネットワーク確保対策費※	3,635,200	6,665
10	市民税費※	277,134	14,558
11	国際スポーツ大会等誘致促進費※	65,000	30,000
12	安全・安心な宿泊環境維持推進費※	24,214	24,214
13	コンテンツ産業振興費※	93,000	5,000
14	ポイ捨て等防止啓発・指導費※	43,801	40,576
15	駅前広場等維持管理費※	464,956	2,724
	観光資源の磨き上げと付加価値の向上	2,785,000	867,447
16	付加価値の高い観光コンテンツ創出費	39,000	5,000
17	定山溪地区魅力アップ費	540,000	257,000
18	スノーリゾート推進費	225,000	81,244
19	さっぽろ雪まつり事業費	825,000	310,403

◆ 事業名の横に(※)がある事業は観光・MICE推進部以外の他部局事業を示す
◆ 一部宿泊税対象経費に特定財源(国費や市債等)を充当する事業あり

(単位:千円)

	事業名	事業費	宿泊税活用額
20	観光イベント魅力向上支援費	11,000	11,000
21	パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費※	415,000	35,000
22	国際芸術祭・創造都市推進事業費※	629,000	93,000
23	さっぽろスノースポーツパーク開催負担金※	50,000	50,000
24	地域スポーツコミッション事業費※	31,000	9,800
25	美食のまち・さっぽろブランド推進費※	20,000	15,000
	受入環境の整備とおもてなしの向上	994,800	598,338
26	観光案内所運営費	155,000	63,452
27	観光関連施設の災害対策支援費	100,000	100,000
28	おもてなし推進費	22,000	10,208
29	観光客受入環境整備費	192,000	165,089
30	ユニバーサルツーリズム推進費	92,000	92,000
31	観光業界強靱化推進費	133,000	133,000
32	備蓄物資整備費※	175,000	975
33	多文化共生推進費※	75,000	10,214
34	公共交通ネットワーク確保対策費※	6,800	6,800
35	札幌芸術の森魅力向上費※	20,000	3,600
36	豊平峡ダムサイト園地ユニバーサルデザイン化費※	13,000	2,000
37	公園インフォメーション機能向上費※	11,000	11,000
	基金造成	410,000	410,000
38	観光振興基金造成費	410,000	410,000
	合計	10,290,605	3,141,000